

ブータンと包括連携協定

本学は昨年12月、ブータン王国政府技術庁と教育研究や技術分野などに関する包括連携協定を締結した。同国は特別行政区を設置して国際的な経済都市を目指す「新都市構想」(新特別行政区)を掲げてお

り、本学が学术交流や技術支援など多面的な協力をスタートさせる。我が国の技術や専門知識を通じブータンの発展に寄与するとともに、両国間の交流を活発化させる牽引役としても期待される。



ヒマラヤの国ブータンで盛大に祝われた建国記念日の式典



ジグミ・ケサル国王陛下(中央)と



MOU(基本合意書)を交わす瀬戸熊理事長(中央)と伊藤学長

瀬戸熊理事長、伊藤学長が訪問、合意

都市構想へ技術支援

NEWS CIT

2024
1.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 柳原さんに若手研究奨励賞／横尾さん中村さん優秀講演表彰／飯高さん優秀発表賞／建築5人が佐原マルシェで奨励賞／倉澤さん若手萌芽賞
- 3面 王さん口頭発表優秀賞／緒方教授に材料学会功労賞／三浦助教が若手研究奨励賞／宮田教授ベストポスター賞／就職・進路支援便り
- 4面 東京理工科柔道男子団体に連覇／4人がレモネード店／よさこい風神が年納め演舞

★ブータンで 伊藤学長が談話

国王陛下の指導のもと、この歴史的な過渡期にブータンと協力できることを楽しみにしています。本学は、このパートナーシップを通じて、ブータンと日本の両国で新たな技術力を開発することで、世界的な課題の多くにポジティブな影響

を与えられることを期待しています。私たちはこの協力が技術を通じた持続可能で環境にやさしい未来に向けた一歩であると信じています。ブータンは世界で初めて炭素中立を達成した国であり、クリーンエネルギー開発に不可欠な水力発電の重要な源です。日本に貴重な知識をもたらし、持続可能な未来を共同で開

発することで、ブータンの技術進歩を本技術の進歩と専門知識でサポートできることを願っています。また、これは日本とブータンの両方に、ユニークなプロジェクトに学生が関与できる素晴らしい機会でもあります。両国で協力し、ともに明るい未来への発展を熱望します。

教育やインフラで協力

協定の締結は、ブータン王国の建国116年記念日にあたる12月17日に本学とブータン政府技術庁、DHI(政府の持株投資会社)が発表した。瀬戸熊理事長、伊藤一学長らは同国のジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク国王(第5代)から招聘され、12月14～19日に同国を訪問。ブータンとの国際パートナーシップの新たな展開について協議し、多面的な協力関係を築く協定書に署名した。

幸福の追求を国家の目標に据えている。本学との協定は、環境への配慮や幸福を重視した教育・技術、インフラの推進などについて多面的な協力をスタートさせるもので、激変する社会

に対応すべく、学生の育成に加え、技術者による技術開発などを加速させる。瀬戸熊理事長一行は、同国訪問中、チベット仏教信仰の聖地であるタクツァン僧院(トラの巣)

共通テストが終了

入試シーズンがスタート

1月13、14日の令和6年度大学入学共通テストを皮切りに、全国で入学試験シーズンに突入した。大学入試センターの発表によれば、今年の志願者数は49万1914人で、前年度から2万667人減少した。本学試験会場では1900人を受け入れ、両日とも特にトラブルなく終了した。

推薦志願1472人
令和6年度4月に新設される情報変革科学部(3学科)、未来変革科学部(2学科)を対象とした総合型(デジタルイノベーション発掘)選抜が昨年10月15日に実施され

たのを皮切りに、10月21、22日総合型(創造)選抜▽11月19日学校推薦型選抜(指定校制・帰国生徒指定校制)▽同25日特別選抜(外国人留学生・帰国生徒・社会人)、編入学選抜(指定校制・高等専門学校)▽同26日学校推薦型選

抜(公募制・専門学校)が実施された。総合型(デジタルイノベーション発掘)選抜では、将来のデジタル社会を斬新な発想でリードできる人物を発掘することを目的に書類審査、当日の課題演習と面接により多面的かつ総合的に評価し、合否判定を行った。今年度の推薦系志願者総数は1472人。編入学選抜の試験志願者数は49人となった。



入構開始を待つ受験生たち



1月13日の試験会場

柳原さんに若手研究奨励賞

▼ビットコイン仲介技術などで



凝集させる集合体リレイヤ・アグリゲーション(RA)の概念を提案。2022年に2回、23年にも2回と、継続的にプロ

スマホ活用 地震震度推定

飯高さん 優秀発表賞

交通管理や通信・ネットワーク技術を研究する情報処理学会の第95回高度交通システムとスマートフォン併用で開催)で、飯高智広さん(情報科学研究修士2年、屋代智之研究室II写真)が「近隣エリア内のスマートフォン加速度センサデータを用了いた震度推定手法の提案」



研究会(昨年11月16、17日、福井県大野市の大野商工会議所とオンライン併用で開催)で、飯高智広さん(情報科学研究修士2年、屋代智之研究室II写真)が「近隣エリア内のスマートフォン加速度センサデータを用了いた震度推定手法の提案」

生物のすみか調べ受賞

横尾さん 中村さん 沿岸域学会

沿岸域の保全や防災、温暖化の影響などを話し合う日本沿岸域学会の研究討論会2023(昨年7月22日、新潟市の新潟大工学部とオンライン併用開催)で、生命科学専攻修士1年、横尾菜摘さん(五明美智男研究室II写真)の「都市域に配置された人工物および植生による生物のすみかの提



供」と、同、中村夏暉さん

の「すみかの構造要素と生物の形態に着目した新たな生物調査法の提案」が優秀講演表彰に選ばれた。昨年11月6日、新たな生物調査法の提案表彰が届いた。

証拠採しの前段として津田沼キャンパスを調査。環境に敏感に反応・適応する昆虫を虫網で捕えてデータを集めた。

「地域を想う、私の思い」をテーマに開かれた学生プロジェクトデザインコンペティション2023(日本能率協会、HEAD研究会主催)は昨年11月17日、都内江東区の東京ビックサイトで最終審査が行われ、川崎玲雄さん(建築学専攻修士1年、田島則行研究室)ら5人が取り組んだ「みんなでつくる佐原マルシェが奨励賞を受賞した。



(左から)内藤さん、山本さん、片岡さん、寺尾さん、川崎さん



5人が考案した木枠と天板。テーブルにも、椅子にも看板立てにもなる

代表の川崎さんは「私たちの強みであるものづくりを生かした提案ができ、(受賞して)非常にうれしい。評価を励みに、今後の活動に生かしたいと思います」と喜びを語った。

「佐原マルシェ」で奨励賞

建築5人 ▼ プロジェクトコンペ

コンペは社会問題に対し、学生が敷地、用途、運営主体を設定し、デザインによる解決策を提案する。川崎さんらは千葉県香取市佐原などで業者と共に建物のリノベーションを進めてきた縁で、「佐原のために何かしたい」と応募を決めた。

佐原は江戸期の水郷、小

江戸の風情を残すまち。地元生産者や住民のマルシェが開かれており「飲食などに使う台が持ち運びづらい」という声を聞いて、マルシェ台の設計を思いついた。

5人がデザインしたのはシンプルな木枠と天板。組み合わせ次第で調理、販売、飲食、立ち話用のテーブルにも、椅子にも看板立てにもなる。

マルシェから地域コミュニティを形成し、佐原で新たに活動をしようと思ふ人の活動拠点となる場を、との思いを形にした。作品展示や公開プレゼンテーションを経て受賞が決まった。

「これにより、プレイヤーが笑った際にイベントを呈示することは、単に笑った時やイベントを呈示した時と異なる感情を誘発することが分かった。

プレイヤーが笑った時、仮想世界が反応返す効果

倉澤さん若手萌芽賞 ▼ 対話システムシンポ



人工知能学会の言語・音理解と対話処理研究会・第14回対話システムシンポジウム(12月13、14日、東京都立川市の国立国語研究所でオンライン併用開催)で、倉澤瑞さん(情報工学科4年、有本泰子研究室II写真)が発表した「笑い声に反応するゲームシステムの開発に向けたイベント提示の生理学的評価」が若手萌芽賞に選ばれた。

倉澤さんは「研究を評価してもらえ、光栄です。次は最優秀賞を目指し励もうと思います。ご指導くださった有本先生、研究室のメンバーに感謝します」と語っている。

現在の地震観測システムよりも高密度で高精度な観測を目指しているが学部卒論と違う内容で、先行研究が見当たらず、また今回は発表時間制限内にまとめる点にも苦心したという。

飯高さんは「現状の自分が受賞するなど想いもなかったのに、驚きました。研究へのモチベーション、自信につながり、よい経験となりました。屋代先生や研究室の仲間のおかげだと思います」と感謝を語った。

「プレイヤーが笑った時、笑っていない時にイベント提示した時と比較し、仮想世界が反応を返すとプレイヤーの仮想体験を操作し得る可能性を示した。

倉澤さんは実験に、笑った際にイベント提示した時と、笑っていない時にイベント提示した時を比較し、仮想世界が反応を返すとプレイヤーの仮想体験を操作し得る可能性を示した。

倉澤さんは「研究を評価してもらえ、光栄です。次は最優秀賞を目指し励もうと思います。ご指導くださった有本先生、研究室のメンバーに感謝します」と語っている。

酸化被膜防止の仮説実証

王さん ▼ 口頭発表 優秀賞



軽金属溶接協会の2023年研究成果発表会・学生口頭発表は昨年11月27、28日、ウエブ会議形式で行われ、王維瑞さん（先端材料工学専攻修士1年、小澤俊平研究室）の「電磁浮遊炉によるAl-Mg合金の酸化皮

膜破壊挙動の直接観察」が優秀賞に決まった。12月6日に発表された。自動車用の熱交換器は、密度が小さく熱伝導性に優れたアルミ合金をろう付して製造される。その際、アルミ表面に生じる酸化被膜の除去と再

酸化防止にフラックス（ろう付促進剤）を使うが、その残滓が電気自動車やハイブリッド車の電子部品を故障させてしまう恐れがある。アルミ合金にMgを添加すると酸化皮膜の還元や

雰囲気中の酸素除去の効果がよくなる。王さんは「酸化皮膜の破壊挙動を直接観察することで、この仮説を実証した。」発表では、スライドの

それに寄与しているの新しいメカニズムを提案。王さんらはAl-Mg合金を加えて還元と同時に起こるMgAl₂O₄の生成が収縮応力を誘発し、それによる酸化皮膜の破壊促進も、

画像品質診断にAI新手法

宮田教授 ベストポスター賞 ▼ 技術シンポ



「画像符号化」と「映像メディア処理」技術の両シンポジウムが共同開催されたPSJ/IMDS 2023（昨年11月20〜22日、静岡県御殿場高原ホテルで開催）で、知能メディア

「画像の知覚品質推定における記述的特徴の利用の一検討」がベストポスター賞を受賞した。

研究者の菅先生（機械電子創成工学科）、栗林先生（附属研究所）と、研究室のみなさんにも感謝しています。今後も研究へ情熱を持ち続けたいと思います」と述べた。

緒方教授に材料学会功労賞

金属損傷の評価法開発 ▼ 高温強度部門委



金属材料のマイクロ単位で進行する損傷メカニズムを解明し、損傷シミュレ

緒方教授は「名誉ある賞をいただき光栄です。約40年間、高温強度研究を続けることができたのは、多くの皆さまの温かいご支援と激励のおかげです。心より感謝申し上げます」と感想を寄せた。

後期授業も終了し、就職活動本番に向けて動いていると思います。不安があれば、就職システムの個人面談予約や、窓口の当日面談を積極的に利用してください。

また、就職以外の進路イベントや求人を活用し

個人相談も活用して、あきらめずに内定をつかみましよう。また、保護者の皆様の後押しもお願いしたいので、イベントの案内を保護者あてに郵送させていただきます。

ヒートパイプの研究で 三浦助教 若手研究奨励賞



電子機器や産業機器の冷却から廃熱利用にまで欠かせない熱輸送装置・ヒートパイプについて、日本ヒートパイプ協会は12月8日、三浦正義・機械工学科助教II写真IIの「自励振動ヒートパイプ

部の圧力差で自動的に振動し、高い熱輸送性能を発揮するが、その熱輸送メカニズムは十分に解明されていない。

三浦助教は学部の卒業研究から継続して、自励振動ヒートパイプの熱輸送のメカニズムを追究。受賞研究は、往復振動に伴い管内に生じる液膜の厚さ測定などを通して、実験と数値解析から、正

確な熱輸送性能の予測の方向性を示した。同賞は35歳以下の研究者・学生の独創的で発展性のある研究に贈られており、三浦助教は受賞に「光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。ご指導いただいた皆様に感謝するとともに、ヒートパイプの更なる発展に貢献できるよう尽力します」とコメントした。

卒業論文・修士論文発表が終了する2月頃、千葉工大生積極採用の企業と直接出会う学内イベントなどを複数実施します。卒業までに、例年多くの学生が内定を獲得するイベントで、参加者の9割近くが内定を獲得しています。4年生などで未内定の学生は、必ず参加してください。日程の詳細は、メール配信などでお知らせします。

金属材料の強度評価や損傷機構の解明を進めてきた緒方隆志・機械工学科教授II写真IIが、日本材料学会高温強度部門委員会から功労賞を贈られた。昨年11月、新潟市の新潟コンベンションセンターで開かれたシンポジウムで授賞式があった。

委員会によると、緒方教授はボイラー、ガス・蒸気タービンなど耐熱金

属材料のマイクロ単位で進行する損傷メカニズムを解明し、損傷シミュレ

「3年生・修士1年生向け支援」

後期授業も終了し、就職活動本番に向けて動いていると思います。不安があれば、就職システムの個人面談予約や、窓口の当日面談を積極的に利用してください。

また、就職以外の進路イベントや求人を活用し

個人相談も活用して、あきらめずに内定をつかみましよう。また、保護者の皆様の後押しもお願いしたいので、イベントの案内を保護者あてに郵送させていただきます。

JOB & CAREER AFFAIRS

就職・進路支援 便り

就職・進路に関する情報をお届けします

休暇中も相談の機会を

OBOG懇談会/若手中堅社員交流会 (2月開催分)

日程	参加予定企業の一部	開催方法
2月6日(火)	京セラドキュメントソリューションズ、LIXIL、日本発条、ミネベアミツミ 他	OL
2月7日(水)	東急電鉄、千葉銀行、きらぼし銀行、イトーヨーカ堂 他	OL
2月8日(木)	パナソニックホームズ、北野建設、東急コミュニティ、前田建設工業 他	OL
2月9日(金)	内田洋行ITソリューションズ 他	OL
2月14日(水)	キャノン、オカモト、吉野石膏、ホンダテクノフォート、菊水HD 他	対
2月15日(木)	シャトレーゼ、三菱製鋼、ニフコ、JNC 他	対

対象：全学年
予約：就職システムの支援行事予約

★各回10社程度が参加予定。参加企業詳細や実施場所・時間などは、就職システム及びメール配信をご確認ください。
★服装自由
★開催方法：対→学内対面 / OL→オンライン
★就活マナー講座・履歴書写真撮影会：2月15日(木)

※4年生及び修士2年生で、既に就職や進学などの卒業後進路が確定している学生は、速やかに就職システムで進路報告の登録をお願いします。

男子団体本学が連覇

東京理工科大学柔道

令和5年度(第9回) 催)で、本学体育会柔道部(石井隆太郎主将)生大会(昨年10月1日、都内文京区の講道館)で開



連覇を果たした柔道部。後列右から3人目が石井主将

授、部員25人)は男子団体試合で昨年に続いて優勝を果たした。

大会は本学、芝浦工業大、東京都大、東京理工大と、部員不足の工学院大・法政大による合同チームの計5団体によるリーグ戦で行なわれた。

初戦は東京理工大、2試合目は工学院・法政合同チーム、3試合目は東京都大を相手に順調に勝ち進み4試合目、芝浦工業大(敬称略)に出場7選手(石井隆太郎(生命4)高橋 佑太(材料2)平川 陽大(材料2)木内 乾舟(電電2)佐野 翔太(知能2)残間 聖那(PMI)深瀬 皓也(PMI)石井選手、重量級選手を攻め続けるが守りが固く引き分け。優勝決定戦を2対1で勝利し、4試合全勝で連覇を果たした。石井主将の話 坂本幸弘先生、森内強・柔道部

4人がレモネード店

ソーシャルアクティブ ラーニングを実践

社会に触れながら学修する本学の教養特別科目「ソーシャルアクティブラーニング」授業の一環として、1年生4人が千葉ポートタワー(千葉市中央区)前の屋台村にレモネードスタンドを開いた。県内中小企業の課題・魅力発信について学生目線でその方法を探るプロジェクトで、企業側との試作を重ね12月23日に「新商品」が披露された。

4人は、情報通信システム工学科の川田碧葉さん、黒田拓生さんと生命



④ 客の反応もよかったホットレモネード ⑤ (左から)川田さん、長門さん、米澤さん、黒田さん

科学科の長門佐桜さん、米澤玲菜さん。地域貢献をテーマに、小児がん医療を支援する一般社団法人レモネードスタンド普及協会の活動に着目。レモネード販売の収益金を小児がん医療に寄付する活動に加わろうと決めた。

「企業と活動したことなかったが、よい経験になった(川田さん)。後味は苦くないか、子どもには酸っぱすぎないか

もには酸っぱすぎないか...」レモン果汁の炭酸割りや水割りを試したが、うまくいかなかった。多用されるグラニュー糖でなく大東製糖のてんさいの砂糖を使い、健康にいいホットレモネードで合格をもらった(長門さん)。

本学の黄色いスタッフジャンパー姿の4人は、一杯300円でホットレモネードを販売。はじめは緊張していたが、次第に列ができるホットとした表情に。「反応がよくてうれしい。みんな協力したからできた(米澤さん)。

本学の「ソーシャルアクティブラーニング」は

2016年度から教養特別科目として開設。小生向けプログラミング教室や津田沼ハロウィンプロジェクトなど、地域・企業と連携した活動を行っている。

学生を率いた津田沼教務担当の小野田貴之グループ長補佐は「企業との調整や折衝等、貴重な経験を通して学生が自ら考えて行動する力を育むよい活動だった」と語る。

共同製作にあたった大東製糖の鈴木智久さんは「やるからには真剣に、どの思いで何度も打ち合わせを行い、自信を出すことができた。同じ地域の学生と取り組めてありがたいうらや振り返った。

「レモン果汁100%にてんさいを溶かし、輪切りレモンや生姜を入れる。」「商品として出せるか不安だったが、客に直接魅力を伝えられる機会。社会に出るイメージを持つことができた」(長門さん)。

よさこい風神 年納め



イオン津田沼店で演舞

体育会よさこいソラ風神部が12月3日、イオン津田沼店(新京成線新津田沼駅前)の20周年記念イベントで、年納め

OB会会長の先輩方に結果で恩返しでき、ホットと優勝ができるよう、さらに精進します。

のパフォーマンスを披露したII写真。津田沼祭(昨年11月)を最後に3年生が引退しメンバーは1、2年生た

2016年度から教養特別科目として開設。小生向けプログラミング教室や津田沼ハロウィンプロジェクトなど、地域・企業と連携した活動を行っている。

学生を率いた津田沼教務担当の小野田貴之グループ長補佐は「企業との調整や折衝等、貴重な経験を通して学生が自ら考えて行動する力を育むよい活動だった」と語る。

共同製作にあたった大東製糖の鈴木智久さんは「やるからには真剣に、どの思いで何度も打ち合わせを行い、自信を出すことができた。同じ地域の学生と取り組めてありがたいうらや振り返った。

四季雑感



新年早々に大きな災害・事故が相次ぎ、波乱の一年を予感させるスタートとなりました。今年も成人の日を迎え、街には晴れ着やスーツ姿の若者がにこやかに集う姿を見られるにつけ、「若いっていいな」と感じておられる方も多いことと思います。私にとって三回目の成人式に当たる今年の成人の日、私はシニアアメリカンフットボールの試合に出場しました。この日に備えてほぼ毎週グラウンドに足を運び、汗を流してきました。同じ目的を持った仲間と過ごす時間は格別に楽しく、私にとって最大のストレス発散の場となっています。仕事を楽しくできているのも、この場があるおかげと感じています。私がチームに加入したのは十二年前、ブランク期間も長かったので、やってみればできるもので、「継続は力なり」を実感しています。さすがに四回目の成人式までは無理だと思いましたが、体の動く限り続けようと思っています。令和六年が皆様にとって充実した良い年となるよう、皆様も青春時代の忘れ物を取り戻していただければ幸いです。 財務部 長澤 宏昭

PPA



編集だより



よごみもしがらみも洗い流す、心身スッキリ浄化の旅。ゆったり、たっぷり、のんびりとした温泉地へ出かけたい! 仕事を終え、津田沼キャンパスに吹き込む冷たい風に頬を打たれるたび、ついつい、憧れの大人温泉ひとりで旅など妄想を感じたら一番に自身自身のこと大切にしたいです。自分の思いを誰かに話することで楽になることもありま。自分に合った発散方法があれば笑顔で過ごせます。運動もお勧めです。身体を動かすことでリラックス効果や緊張をほぐす効果も...。これから進級、卒業判定等様々なことに直面しますが、一人で悩まず、学生相談室や昨年、新習志野キャンパスにオープンした学生サポートセンターに、ぜひ足を運んで下さい。そっと相談したい時には、外部専門機関オンラインカウンセリングサービスを利用してみてはいかがでしょうか。勿論、学生担当でも、人の気持ちに寄り添い支えられるようお役に立てればと思っています。最後に被災地域の復興を心より願っております。 教学センター津田沼 学生担当 中島 幸恵